

## 活動の記録（2期生の皆さん）＜平成18年10月～19年3月＞

1年目の活動に取り組んでいる2期生の皆さんは、下草刈り（7月）に続いて、枝打ち（10月）、間伐（11月）、植樹（3月）を体験しました。

### 枝打ち：平成18年10月14日（土）

（財）福岡県水源の森基金主催の「水源の森づくり体験活動」のボランティアの皆さんと合同で、枝打ち作業を体験し、学びました。今回の作業場所は、脊振ダム上流の民有林でしたが、今までにほとんど手が入っていなかったようで、地面から、びっしりと枝がついており、林の中は、光が届かずうっそうとしていました。



光が届かず暗い森でしたが、丹念に枝を落とすと、だんだんと光がさすようになりました。

こんな職人技の方を発見しました。



#### ボランティアの声

今回は枝打ち作業でしたが、3か月振りに仲間会えたという喜びでいっぱいでした。また、本日は（財）福岡県水源の森基金主催の活動に参加した訳ですが、開会式が遅れ待つまでの20～30分の時間が“もったいないね”と、開会式を待つ間や作業後の反省会においても大多数の方から声が上がるように、なんと皆さん意識が高く、意欲に燃えた方々ばかりだなあと強く思いました。

このように、こころの熱い方々と一緒に活動できる水源林ボランティア活動をこれからも楽しみたいと思います。

（2班 松原）

他の団体の皆さんと合同の作業で、人も多く進行がスムーズに進まず申し訳ありませんでした。短い時間でしたが、作業前と作業後では、全く違う森となりました。（担当）



作業後はこんなに明るくなりました。



### 間伐：平成18年11月18日（土）

1期生の皆さんと同じ場所で、初めての間伐作業でしたが、幹は少し小さく（直径10～15cm）また、尾根近くで勾配が比較的緩やかだったことから、作業はスムーズに進みました。



福岡農林事務所の職員の方から説明を受け、作業に入りました。

みんなで切り口の位置や水平を確認しながら作業を進めます。



伐木後は、みんなで、枝を払い玉切りにします。



初めての間伐は、少し怖々な様子。



大きな木にも挑戦しました。

#### ボランティアの声

実践活動は、7月22日の下草刈りからスタートし、10月14日枝打ち、11月18日の間伐をこなしました。3月の植樹で一通り終わることになります。実践活動2年目は、1年目よりもよりよい仕事をこなし、力を発揮していきたいです。それに新リーダーとしての責任として3年間頑張りたいです。3班は、他の班に比べ、出席率がよくありません。皆勤賞が2人しかいません。来年は全員が揃うようにしたいです。（3班 西岡）

間伐や植樹では、グループ作業となり、班の皆さんが、お互いに協力しながら作業を進めていきます。グループ作業では、リーダーの役割も重要です。リーダーの皆さんは大変かと思いますが、どうぞよろしく。また、班員の皆さんは、リーダーの苦労もお忘れなく。（担当）

# 活動の記録（2期生の皆さん）＜平成18年10月～19年3月＞

## 植樹：平成19年3月17日（土）

曲淵ダムの上流の飯場で、ヤマザクラ100本とクヌギ400本を植えました。現地は、竹林を切り開いた場所で、2mの尺を手に、間隔を測りながら、植える位置を決めた後に、苗木を植えました。



竹の切り株が残る場所に、クヌギで、植え付け用の穴を掘ります。地面は竹の根が広がっていて、かなりの重労働でした。



ヤマザクラやクヌギの苗木は高さ1m弱で、枯れ枝のように細いものでしたが、これから、周囲の竹や雑草に負けないように、大きく育てていきましょう。



### ボランティアの声

ボランティア初年度最後の活動に、一番きつい作業が待っていようとは・・・。植樹作業については、今まで何回もこなしてきたが、伐竹直後の植樹用穴掘りの大変さをあらためて実感した次第ですが、良い経験になりました。

今まで学んだことを活かして次年度についても安全に作業を遂行していきたいとします。

意見としては、各班でなくてもよいが、安全担当者（見張り番）として、作業中に目をひかせている人がいてもいいんじゃないかと思った。（4班 さこちゃん）

竹林の後地の穴掘りに、参加者は皆、大変苦労されていました。特に女性には、大変な作業だったと思います。そんな中、作業を始めてしばらくすると、班ごとに、穴を掘る人、植え付ける人、支柱にヒモで結ぶ人など、役割分担が始まり、手際よく作業が終了したのは大変驚きでした。

2年目の作業では、グループ作業が多くなります。また、班ごとの安全管理は、現在は職員や指導者が行っていますが、ゆくゆくは自分たちで分担する必要があるでしょう。これからもチームワークよく、安全に楽しく作業していきましょう。（担当）

## 水源林ボランティア3期生を募集します

福岡市水道局では、水源林の保全活動を行う人材を育成するため、平成17年度から、市民ボランティアを募集し、水源林の保全活動に必要な基礎的な知識や技術の講習を行っています。平成19年度の募集概要は次のとおりです。豊かな水と森林を守るための活動にご協力をお願いします。

### 【募集要項】

募集期間	平成19年5月15日（火）～6月12日（火）必着
募集人数	50名程度
募集対象	市内に居住又は通勤・通学する満18歳以上の健康な方で、今までに育林作業等の経験がなく、今後、水源林の保全活動を実践したい方。
応募方法	ハガキ又はFAX、Eメールで、住所・氏名・連絡先・年齢を記入のうえ申し込んでください。
申込先	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-28-15 福岡市水道局流域連携課 TEL 092-483-3194 FAX 092-483-3252 Eメール ryuiki.WB@city.fukuoka.jp

### 編集後記

現在、1期生と2期生合計88名が、市内の曲淵ダムの上流などで額に汗しながら、育林等の活動に取り組んでいます。

平成19年度は、1期生が講習期間の最後の3年目を迎え、筑後川上流の朝倉市や日田市での間伐や枝打ち作業に取り組めます。

1期生の皆さんは、1年目に比べると、山にも作業にもすっかり慣れ、たくましい限りです。皆さんの水や森林に対する熱い思いを、これからどのように水源の森で活かせるのか、卒業までのこの1年間が大切な年となるでしょう。もちろん、その後には、2期生、3期生が確実に続いています。（亀）

### 【発行・お問合わせ】

福岡市水道局流域連携課

TEL：092-483-3194

FAX：092-483-3252

Eメール：ryuiki.WB@city.fukuoka.jp